

愛知県豊田市

県内最大面積と名古屋に次ぐ人口を抱える、県の中核都市。トヨタ自動車株式会社の本社があることで広く知られ、自動車産業を中心とした製造業が大変盛ん。一方で2005年に市町村合併を果たし、市域の約7割を緑が占めるなど、自然環境にも恵まれている。郊外には景勝地・香嵐渓が広がり、紅葉の美しさで有名。総面積約918km<sup>2</sup>、総人口は422,194人(2014年5月1日現在)。

# トヨタ自動車の前社長はJAYCEE 「多様な知恵が集まる JCならではの活動・学びを」

日本の産業界を牽引する企業、トヨタ自動車。  
2005年から09年まで社長を務められ、現在は相談役である渡辺捷昭氏は、30代にJC運動に取り組まれたJAYCEEでもあります。  
世界を相手に渡りあってこられた渡辺先輩に、JCに挑む心構えや青年経済人のあるべき姿を、横山栄介理事長が伺いました。

## 自分の身の丈を知る

横山 豊田JC設立時にはトヨタ自動車からチャーターメンバーを出していただき、今も1名出していただいております。渡辺先輩も豊田JCのOBでいらっしゃると思いますが、当時はどんな運動をされていたのでしょうか。

渡辺 私が入会したのは、まだ係長だった30歳の頃で、交通安全について取り組んだことを覚えていますが。トヨタは、創業時にこの挙母の地(現豊田市)に立地するときから、ずっとこのまちに大変お世話になってきました。その後、世界中の様々な地域で事業を展開していますが、私が社長のときには、「各地で、地域に愛される、町いちばんの企業になろう」と言っていました。そのベースはこの豊田にあるわけです。そんな大切なまちであり、自動車産業が盛んなこのまちで交通事故があってははいけません。当時の理事長にお話して、行政も巻き込んで「りすくらぶ」という組織を作り、園児たちを対象に交通安全の勉強やイベントを展開しました。

横山 先輩方がしっかりと基盤を築いてくださった「りすくらぶ」は長く続き、私の子どもも勉強させてもらいました。

今年豊田JCは、昨年賞をいただいたタグラグビー事業をさらに広めたり、国家観を深めたりと、いろいろ挑戦しようと考えています。その中の一つに、会員に研修の機会をつくり、JC運動にも経営にも役立ててもらおうと考えています。

渡辺 それはいいことですね。JCメンバーのベースには、会社や家庭があり、その確立がまず必要です。JCに夢中になつたり、よく遊んでも(笑)、会社に戻ればJCで学んだことを生かしていい仕事をする。「あそこの会社はいつも活き活きとしているし、いろいろな工夫があつてすごいね」と評価されてこそJCの価値があります。

# 渡辺捷昭 × 横山栄介



わたなべ かつあき  
1942年生/73年豊田JC入会/77年企画委員会委員長、81年監事などを務め82年卒業/トヨタ自動車(株)では2005年取締役社長、09年取締役副会長、11年相談役

トヨタ自動車(株)相談役



よこやま えいすけ  
1976年生/2008年豊田JC入会/12年運営室室長/13年副理事長、日本JC出向(グローバルリーダー育成委員会)/横山興業(株)専務取締役

第55代豊田JC理事長

力があるか」で決まると思いますが。目指すところを明確にし、組織の魅力、そして人間的な魅力をもっと増すよう研修などを頑張れば、自然に求心力が生まれます。「質の向上なくして成長なし」です。

